

鳥海ダムの整備効果についての説明資料

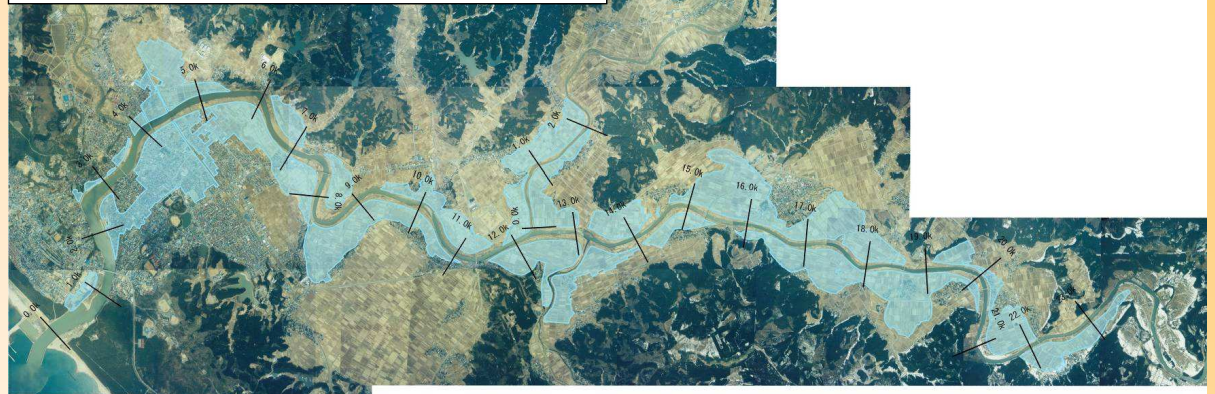
平成17年10月27日
国土交通省 東北地方整備局

1. 治水効果(1): 昭和22年7月洪水と同規模の洪水に対する被害軽減効果

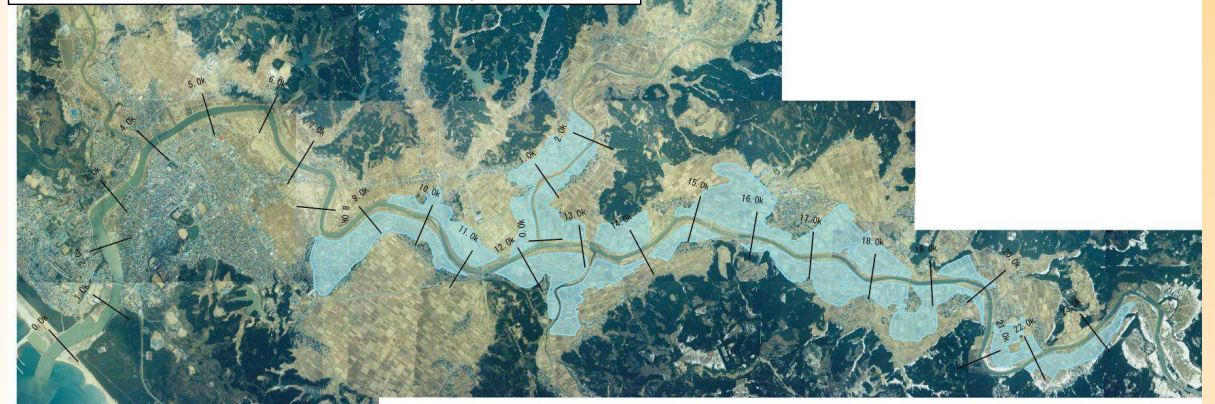
鳥海ダム建設(と河道掘削、堤防整備)によって、戦後最大洪水である昭和22年7月洪水と同規模の洪水が発生しても、床上浸水等の重大な家屋浸水被害を防止するとともに、水田等農地についても浸水被害を軽減することができます

目標指標	現況	整備後
洪水による 氾濫面積	約1,290ha	約840ha
床上浸水家屋数	約4,800戸	0戸

現況 昭和22年7月洪水と同規模の洪水



整備後 昭和22年7月洪水と同規模の洪水

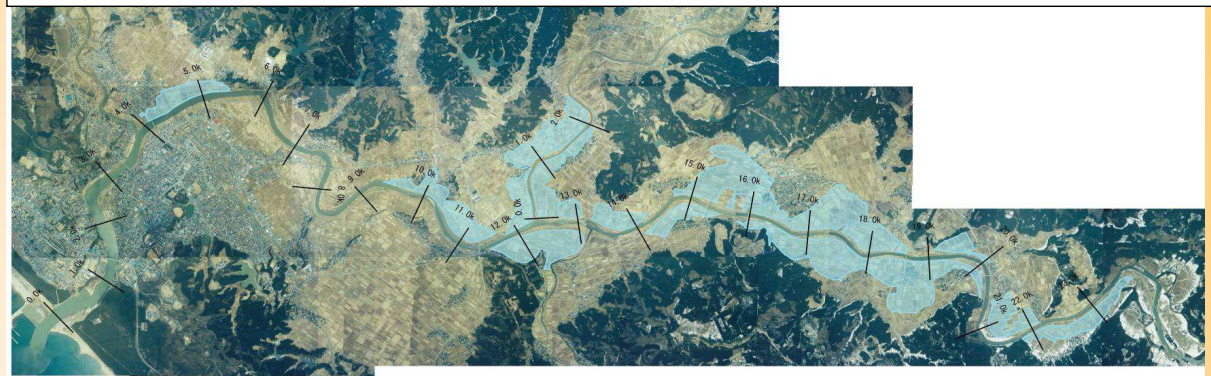


1. 治水効果(2): 昭和50年8月洪水と同規模の洪水に対する被害軽減効果

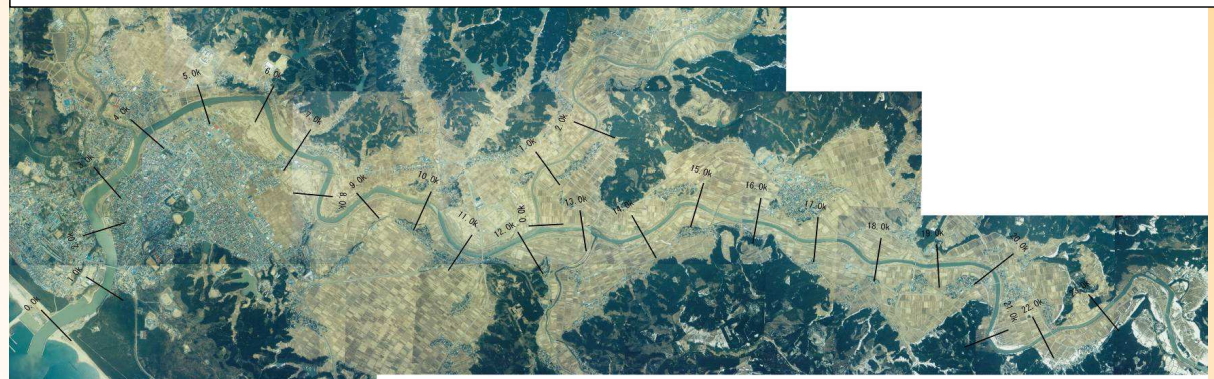
現在、概ね5年に1度程度の頻度で冠水被害が発生していますが、鳥海ダム建設により、概ね10年に1度程度まで軽減されます。(昭和50年8月洪水と同規模の洪水が発生した場合、全川にわたり浸水被害が防止できます。)

目標指標	現況	整備後
洪水による 氾濫面積	約690ha	0ha
床上浸水家屋数	0戸	0戸
二十六木橋上流部の 冠水頻度	概ね5年に 1度程度	概ね10年に 1度程度

現況 昭和50年8月洪水と同規模の洪水(10年に1度程度発生する可能性のある洪水規模)



整備後 昭和50年8月洪水と同規模の洪水(10年に1度程度発生する可能性のある洪水規模)

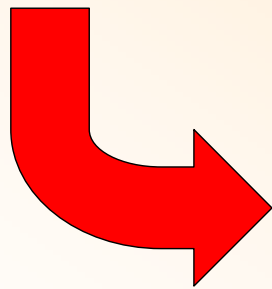


2. 利水面の効果：塩水遡上の防止

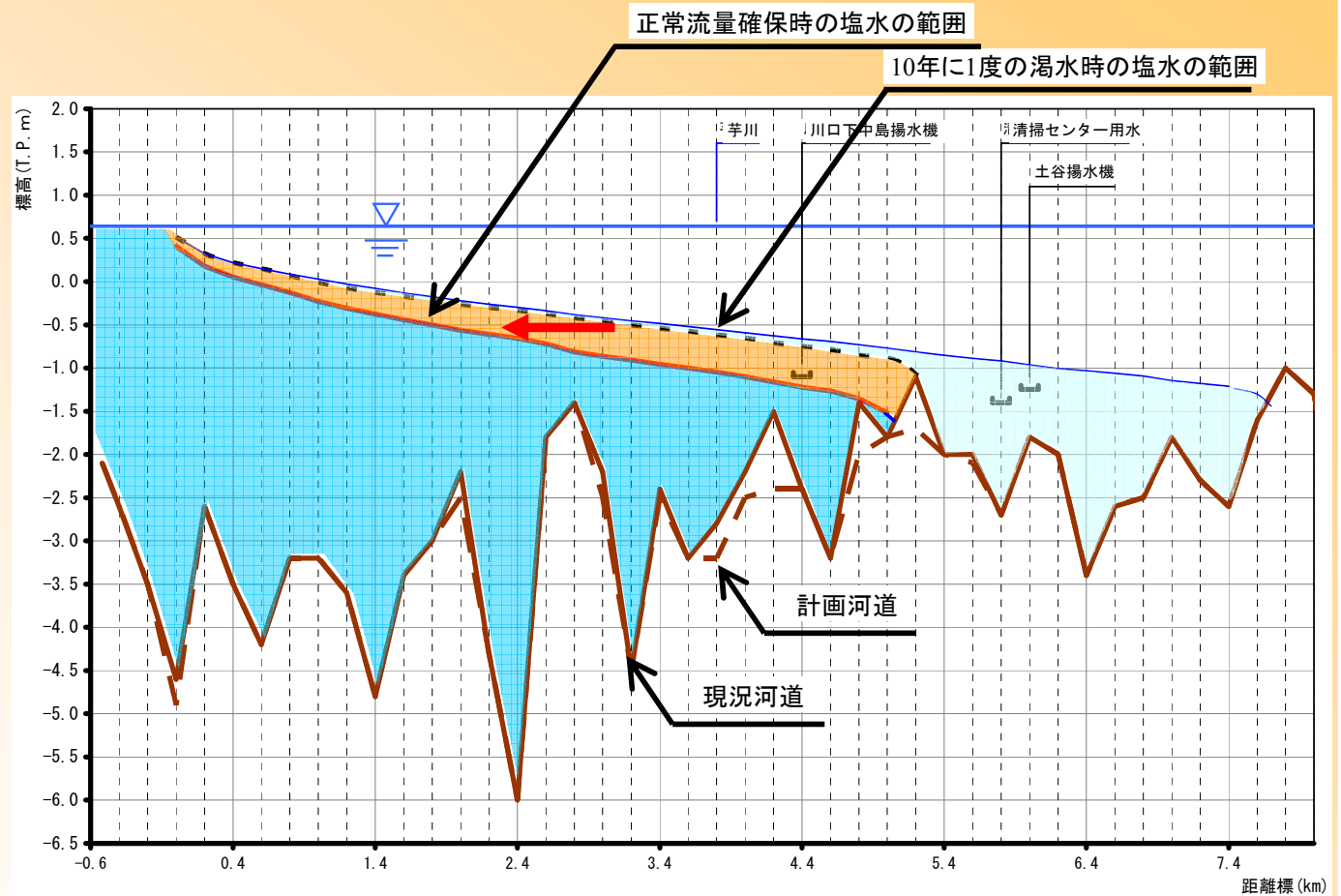
近年渇水時の取水停止日数

取水施設名	H1	H6	H11
川口下中島揚水機	22日	10日	16日
清掃センター	22日	33日	10日
岡本揚水機	4日		
土谷揚水機	11日	10日	

下流部の複数の取水施設において、渇水時に取水停止などの措置を講じています。



鳥海ダムによる正常流量確保によって、塩水遡上を防止することができます
 （正常流量確保によって塩水くさびが下流側に移動します）



3. 利水・環境面の効果：正常流量の確保

鳥海ダム建設によって、10年に1回の渇水時にも約11m³/sを確保することができます
 (渇水流量が11m³/sを下回るのは、30年間で2回まで解消されます。)

